

寿楽苑だより

129号



社会福祉法人 舟見寿楽苑

発行責任者/施設長 高 村 敏 明

〒938-0103 富山県下新川郡入善町舟見1664

TEL 0765-78-1935 / FAX 0765-78-1941

e-mail : jurak273@funamijurakuen.jp

http://www.funamijurakuen.jp

舟見寿楽苑

検索

発行/令和 6年 5月20日

足湯「ひばり野湯へ」

4月7日、舟見リバーサイドパーク足湯施設「手足ぬくもり ひばり野湯」へ、出かけてきました。

暖かい日射しを受けながらの外出で、久しぶりの足湯に、入居者様は話も弾みます。

「気持ちいいね。体中が、あったまってくるもん」

「みんな一緒に入るから、いいがやよ」

賑やかなおしゃべりは、尽きません。

記念写真を撮ったのですが、それを目にした入居者様。笑顔で「えらい、べっぴんに撮ってもらったがいね」「これで化粧したら、まるでモデルさんやわ」。



持ち帰ったチューリップの花



4月26日、ふれあい温泉の花壇や、桜などを見ようと、入居者様が揃って外出です。

「いい天気やね。山もきれいに見えとるわ」

「桜見られんだけど、チューリップまだ残っとるね」

花壇の中、茎が折れた紫色のチューリップに目が止まり「このチューリップの花、来られんだ人に持って帰らんけ」。相談がまとまり、茎の折れたチューリップの花を摘んで、持ち帰ることに。

広場で、チューリップの花を目にした入居者様、笑顔で「きれいなが見せてもろて、ありがとう」。

春祭り見物

4月13日、舟見藤保内神社の春季祭礼が行われ、喜楽苑の入居者様が、祭り見物に出かけました。

遠くから、笛や太鼓の音が流れてくると、入居者様が「ほら。まっつりの笛が、聞こえてきたよ」。

青年団と子天狗が到着。早速、青年団による「とざいとうざーい。おんさかな、まんぶね」と、花の口上が行われます。続いて、笛と太鼓に合わせ、子天狗たちの踊りがスタート。

「かわいらしい子どもたち、踊り上手やね」

「踊り見とったら、私らまで元気になってくるわ」

「いいが見たから、今年も無病息災間違いなし」



ひばり野苑



春の花見散歩

4月12日、晴れて天気も良く暖かい花見日和の日、入居者様と一緒に舟見リバーサイドパークの桜と、ふれあい温泉のチューリップ見物に行ってきました。

満開に咲く桜の花を見て「きれいに咲いとるね」。

また、チューリップを目にし「見られ、桜から、チューリップから、もう春やわ」。

そして、「咲いた 咲いた チューリップの花が」と歌まで飛び出したでは。入居様は、花見散歩に出かけ、目からも春を感じることができたようです。



貼り絵の鯉のぼり



4月初旬から、おいつる広場に貼り絵の鯉のぼりが飾られました。鯉が5匹と吹き流し、矢車など。

この貼り絵を、お一人で作ったのが、ひばり野苑の入居者様です。

「貼り絵は、ここに来てから初めて。それまでやったことがなかった」そうです。鯉は一番下から作り始め、一番上が最後だったとのこと。笑顔で「上の方になったら、慣れて見よなっと思ったよ」。広場で元気に泳ぐ鯉が、入居者様たちの目を楽しませてくれました。

デイサービス



桜を見ながらおやつ

4月初旬を過ぎて、桜が開花したとあちこちから耳にするようになった頃、デイサービス送迎バスの中は、桜の話題で持ちぎりです。

「桜、今年もきれいに咲いたね」

「いつ、満開を迎えるかい」

利用者様が、待ちに待った花見へ車で出かけたのは、4月12日。天気に恵まれ、山の麓や黒部川の河川敷、舟川べりなどで花見です。桜を見ながら、おやつもいただき「今日は、いい花見させてもらった」。



鶴と亀の壁飾り



4月22日、デイサービス通路に、鶴と亀の壁飾りが飾られました。

利用者様の協力を得て作り上げた、縁起が良いと言われている鶴と亀の装飾です。

作業は、紙を小さく丸めることから始め、それに糊をつけ、ていねいに敷き詰めて貼っていったもの。

出来上がった壁飾りを目にした利用者様。

「こりゃ、なんていいがに出来たが」

「見るだけで、めでたなってくるようやもん」



花見ドライブ

4月11日、入居者様が花見ドライブで、墓ノ木自然公園などへ出かけてきました。

手を伸ばすと、桜の枝に届くほどの距離まで近くことができ、満開の桜がすぐ目の前です。

その時、入居者様の口から思わず「きれいやね」。

近くには、地元の人たちが花見をしており、互いに手を振りあっての交流も。ピンク色に咲いた桜の花を間近で見られた上に、地域の方々と和やかな交流もでき、入居者様には楽しい花見になったようです。



チンドン祭り



4月30日、チンドン祭りを開催しました。

チンドン屋に扮した4人の職員が、「上を向いて歩こう」「お祭りマンボ」等の曲で、賑やかに会場へ登場。すると、入居者様は、タンバリンなどの楽器を鳴らして、大喜びです。

喜楽苑は、健康長寿・元気はつらつ・平和で楽しく、などの宣伝するパフォーマンスでは、入居者様も一緒に声を張り上げて参加。

「チンドン、富山より、こっちの方がおもっいわ」

行 事 等



五月人形

4月初旬から5月にかけて、舟見寿楽苑・ひばり野苑・喜楽苑の広場等に、五月人形が飾られました。

そのどれもが、とても手の込んだ作り。まるで本物と見間違ふほどで、入居者様は感心したように、「こりゃ、ほんとに、立派なもんや」。



移動スーパー「とくし丸」



4月4日から、喜楽苑へ。そして、4月25日からは、舟見寿楽苑へ、移動スーパー「とくし丸」がやって来るようになりました。それぞれ、毎月2回ずつです。

入居者様に買い物を楽しんでいただきたいと、運営会社関係者へ連絡をして、実現させたもの。

「買いもんするが、久しぶりや」

「いっぱいあるから、どれにしようか。目移りするもん」

「あった。これ、食べたかったが」。

入居者様の笑顔の場が、また一つ増えました。

まごころ善意

令和 6年 3月18日～令和 6年 5月16日
(順不同・敬称略)

寄付金

・長津 芳貴 ・鍋谷 栄治 ・嶋瀬 一之
・草島 律子 ・舟見寿楽苑家族会 ・匿名

寄付物品

・柏原 英雄 ・吉野 正治 ・湊 良子 ・鍋谷 栄治 ・嶋田 道幸 ・匿名



ご家族様・関係する皆様へ

苑内で発生した感染症で入居者様を始め関係する皆様には、ご迷惑とご心配をおかけしましたことに心からお詫びを申し上げます。今後とも、感染症防止に努めてまいりますので、よろしくお願い致します。



新入職員紹介



喜楽苑でパートとして働き丸5年が過ぎましたが、4月1日付で正規職員となりました廣幡千鶴です。

これまで同様、看護師として入居者様の健康管理に努め、安心安全な生活を支援していきたいと思っております。また、ご家族様に喜楽苑で良かったと感じていただけるよう誠実に働いて参りますので、今後ともご指導宜しくお願いいたします。



4月1日付けで、総務課に配属になりました、金井幹雄です。故郷の懐かしい山野を眺めると穏やかな心地になります。

寿楽苑ができた頃私は中学生で、一度入居者様のお顔を描きに来たことを覚えています。それから数十年を経た後半生に、ここで働くことになりました。初心に帰り、職務に励んでいきますので、ご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。



4月1日付けで、ひばり野苑職員として勤務することになりました、上田和美です。

これまでに培ってきた介護に関する経験を生かしながら、入居者様との関りを大切にし、業務に努めていきたいと思っています。

一生懸命頑張るつもりですので、これからもどうかよろしくお願い致します。



5月1日から、喜楽苑職員として働くことになりました上田美知代です。

前職では、老人保健施設で長年働いていました。

その経験を生かしながら、1日でも早く仕事を覚え、入居者様をはじめ関係する皆様から信頼される職員になるよう頑張っていくつもりです。

ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、よろしくお願い致します。

編集後記

散歩に出かけた時のこと。道路横にある家のペンキが、きれいに塗られているのに気がついて、「ここ、いいがなったわ」。すると、連れが「お金が少しぐらいかかっても、そんなもんには代えられんからね」。そして、「ところで、家の玄関先。ペンキがボロボロになっとるが、知っとった」と言われて、返す言葉が。

途中、前からやって来た男性の靴を見て、「そうそう。この前、紺色のスーツを着た人が靴下履かんと、素足に靴履いとったよ。裸足でやぜ」。「何言うとるが。それ、今ばやりのファッションの一つ。あんたがこの前、左右柄の違う靴下履いて出かけたのは、ファッションじゃないけど」と、またまた厳しい指摘を。

厳しくても、言われなければ気づかないことがあるもの。ましてや、チクリと言われたのだから、ボロボロのところを修繕するため、少々のお金を使ってでもきれいに直さないと、こんどは太い注射でズブリと。